

平成30年度第1回東松島市地域支え合い推進委員会

日 時：平成30年6月29日（金）

午前10時00分～

場 所：東松島市役所 南庁舎
2階会議室

次 第

1. 開 会

2. 開会挨拶

東松島市地域支え合い推進委員会
委員長 根元 藤夫

3. 協議事項

(1) 生活支援体制整備事業の進捗状況について

①社協支え合い事業説明会について 資料1

②生活支援体制整備事業第2層の進捗状況について 資料2

(2) 生活支援体制整備事業第2層の進め方について

(3) 東松島市地域支え合いフォーラムの開催について 資料3

(4) その他

4. 閉会挨拶

東松島市地域支え合い推進委員会
副委員長 加藤 京子

5. 閉 会

平成30年度 生活支援体制整備事業年間スケジュール

大項目		中項目	小科目	担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
制度の周知に係るもの	住民へ制度の働きかけ	パンフレット・ポスターの作成	全市的なものを作成 地域版の作成		→ 原本作成												
		パンフレット配布・ポスターの掲示	関係事業所へ設置依頼及び設置			← 随時実施 →											
		広報誌への体制整備事業についての理解・啓発	市報、社協だよりにて情報の掲載		5月か6月に市報特集、社協だよりにおいては定例で記事掲載												
		支部長への制度説明会の開催	社協支部長への制度説明		エリアにおいての説明会、支部長会議においての説明会、個別訪問し説明												
		市民研修会の開催 ※30年度は地域支え合いフォーラムの開催	市民研修会の企画、パネリスト調整、研修会の運営		フォーラムの企画調整 → 講師・パネリスト調整 → チャレンジ作成・案内発送 → フォーラム開催												
協議体運営に関すること	第1層協議体 (年4回)	協議体の開催	説明事項の整理、関係資料作成、会議録の作成 議題設定			→ 第1回委員会			→ 第2回委員会		→ フォーラム共催・3回委員会兼ねる				→ 第4回委員会		
		新規メンバー候補、バックアップ者(活動者、団体、企業)への事業説明	説明事項の整理、説明資料作成		→ 新規委員候補者・委員会バックアップ団体への説明は随時												
		会議開催案内、広報、通知文の作成	案内文の原本作成、発送		→			→			→			→			
		市への報告及び情報の発信	報告書の作成、協議会後の報告、情報発信の方法検討			→			→			→			→		
	協議体準備会 (次年度3カ所)	準備会メンバーの選	メンバー(案)の作成、候補者への説明		<p style="text-align: center;"> 地区ごとに個別の計画作成 ※31年度末までに8エリアに協議体を整備 自治会の単位で集いの場、見守り事業を展開 </p>												
		準備会参加者への協議体趣旨理解・勉強会	勉強会内容、説明資料の作成、メンバーへの案内														
		協議体運営のルール作り、ありたい地域像についての共有 協議体メンバーの選	会議の進行役、ルール(案)の作成														
		会議開催案内、通知文の作成	案内文の原本作成、発送														
		会議の運営	会議録の作成、会議の議題設定、関係資料の作成														
		自治協議会への報告	報告書の作成														
	第2層協議体 (隔月開催)	メンバー候補、バックアップ者(活動者、団体、企業)への事業説明	説明事項の整理、説明資料作成		<p style="text-align: center;"> 地区ごとに個別の計画作成 ※31年度末までに8エリアに協議体を整備 自治会の単位で集いの場、見守り事業を展開 </p>												
		協議体メンバーへの協議体趣旨理解・勉強会	勉強会内容、説明資料の作成、メンバーへの案内														
		会議開催案内、広報、通知文の作成	案内文の原本作成、発送														
		会議の運営	会議録の作成、会議の議題設定、関係資料の作成														
		自治協議会への報告	報告書の作成、協議会後の報告														

生活支援体制整備事業の進捗状況について

平成 30 年 4 月から市全域に 1 名、日常生活圏域に 2 名、計 3 名のコーディネーターを配置しました。第 1 層（市全域）眞籠孝史、第 2 層（東松島東部地区）本田栄子、（東松島中部地区）眞籠孝史（第 1 層と兼務）、（東松島西部地区）渡邊英人となっております。生活支援体制整備事業の現在までの活動内容については下記のとおりとなっております。

平成 29 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターの配置 ・地域支え合い推進委員会の設置（前年度 3 回開催） ・通いの場としての百歳体操サークル立ち上げ支援（前年度 40 ヶ所） ・地域支え合い研修会の開催（赤井地区、矢本地区、鳴瀬地区） ・地域活動の訪問、商工会事業所調査を通じて「東松島市「高齢者の生活を支える」地域活動一覧表」の作成
平成 30 年度 4 月～	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援体制整備事業推進協力金交付要綱の整備 ・「ふれあいサロン活動」推進事業要領の整備 ・「ふれあいサロン活動」助成金交付要綱の整備 ・東松島市シルバーメイト地域見守り支援事業実施要領の整備 ・東松島市ボランティア市民活動センターと連携した、高齢者等のちょっとした困りごとを支え合う事業開始に向けた調整。 ・社協支え合い事業説明会を 4 エリアで実施（大曲地区・赤井地区・東松島中部地区・東松島西部地区） ・赤井地区協議体準備会の開催 ・通いの場としての百歳体操サークル立ち上げ支援（今年度新規サークル 11 ヶ所）

※その他、地域の活動へ参加し集いの場の立ち上げ、シルバーメイト事業等の立ち上げについて各団体へ働き掛けをおこなっています。

資料 1

社協支え合い事業説明会について

1.事業説明会開催日時及び場所

日時	場所	対象地区	参加者数
平成 30 年 5 月 25 日 10 : 00 ~ 11 : 30	大曲市民センター 多目的ホール	大曲地区	18 名
平成 30 年 5 月 25 日 14 : 00 ~ 15 : 30	赤井市民センター 多目的ホール	赤井地区	31 名
平成 30 年 6 月 1 日 10 : 00 ~ 11 : 30	東松島市 コミュニティセンター 2 階会議室	矢本東地区 矢本西地区 大塩地区	54 名 (矢本東 26 名 矢本西 17 名 大塩 11 名)
平成 30 年 6 月 6 日 13 : 30 ~ 15 : 00	野蒜市民センター 2 階会議室	小野地区 野蒜地区 宮戸地区	42 名 (小野 23 名 野蒜 19 名 宮戸 0 名)

2.対象者

社会福祉協議会支部長、自治会役員、民生委員・児童委員、保健推進員 等

3.内容

①地域包括ケアシステムについて

説明者 市役所 高齢障害支援課

②生活支援コーディネーター及び協議体の役割について

説明者 社会福祉協議会 地域福祉課

③地域支え合い活動に関する支援メニューについて

説明者 社会福祉協議会 地域福祉課

アンケートと意見交換

市役所高齢障害支援課と社会福祉協議会から、市と社会福祉協議会で考えている地域支え合い活動の進め方について説明。平成 28 年度と平成 29 年度に地域でおこなった座談会で出た意見を「集いの場」、「見守り活動」、「生活支援」に分類し、地域でそれぞれの活動が推進されるよう市と社会福祉協議会で支援メニューを整備したことを説明。

今後については、その事業を地域で進めていきながら、活動されている方々との連携強化サービス、新しいサービスの創出に向けてエリアごとに協議体を設置していく予定です。

平成30年度 社協支え合い事業説明会

日 時：6月1日（金） 午前10時～午前11時35分

会 場：東松島市コミュニティセンター

対象地区：矢本東、矢本西、大塩

参加者：54名 矢本東地区26名、矢本西地区17名、大塩地区11名

自治会長15名

民生委員19名

保健推進員14名

自治会役員 他6名

【会場から出た意見】

・地域の中で民生委員が簡単な生活支援も実施している状況。民生委員もやりがいはあるが負担が大きい。

・日常生活の中で診療前の受付の手伝いなどはおこなっている。

・サロン活動に来ていない人が気になるがどう声を掛けていいかわからない

・個人情報をごくまで共有していいか悩む。

・サロンなど集いの場は地域で必要だと思うが、なかなか実施するにも中心となってくれる人がいないと進まないし、中心になってやるのは負担が大きいと感じる。

【アンケート結果】 53人回答

問1 地区で特に増えてきたと思う課題

① 健康に関すること	27人	50.9%
② 単身高齢世帯に関すること	15人	28.3%
③ 介護に関すること	29人	54.7%
④ 認知症高齢者に関すること	16人	30.2%
⑤ ひとり親世帯に関すること	4人	7.5%
⑥ 買い物や通院に関すること	11人	20.8%
⑦ ひきこもりに関すること	8人	15.1%
⑧ 障がい者の暮らしに関すること	5人	9.4%
⑨ 子育てに関すること	5人	9.4%

問2 地域で支え合うために必要だと思う取り組み

① 安否確認の声かけ	44人	83.0%
② 話し相手やお茶会などへのお誘い	19人	35.8%
③ ちょっとした買い物やゴミ出しの代行	6人	11.3%
④ 相談相手	9人	17.0%

⑤ 各種団体間での情報共有の機会	4人	7.5%
⑥ 通院の付き添いや外出の手助け	40人	75.5%
⑦ 料理、掃除、洗濯の手伝い	17人	32.1%
⑧ 子どもの預かり	12人	22.6%

問3 地区の良いところ(強み)について

① 住民間の日常的な会話や交流の機会がある	35人	66.0%
② 自治会や民生児童委員などの協力して見守り活動を行っている。	6人	11.3%
③ ボランティア活動や地域福祉活動が盛んである	22人	41.5%
④ 住民の暮らしや福祉について懇談や協議する機会がある	6人	11.3%
⑤ 身近な暮らしの問題の解決に取り組んでいる	6人	11.3%

問4 今後地域の支え合い活動について話し合う機会があれば参加するか。

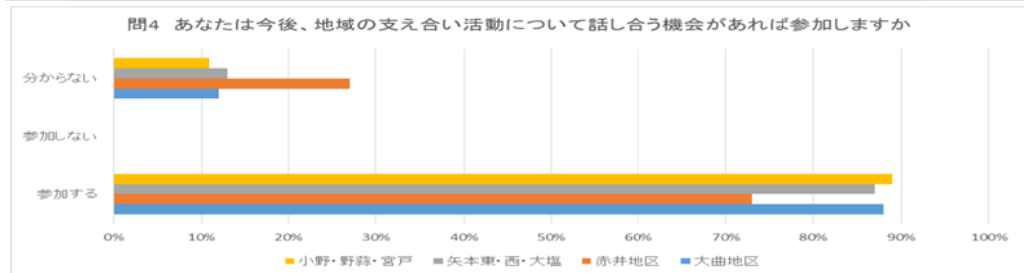
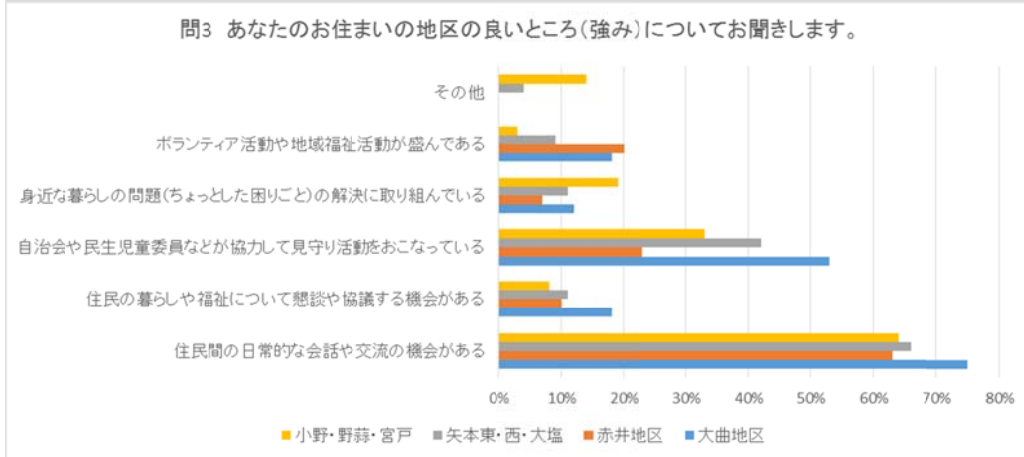
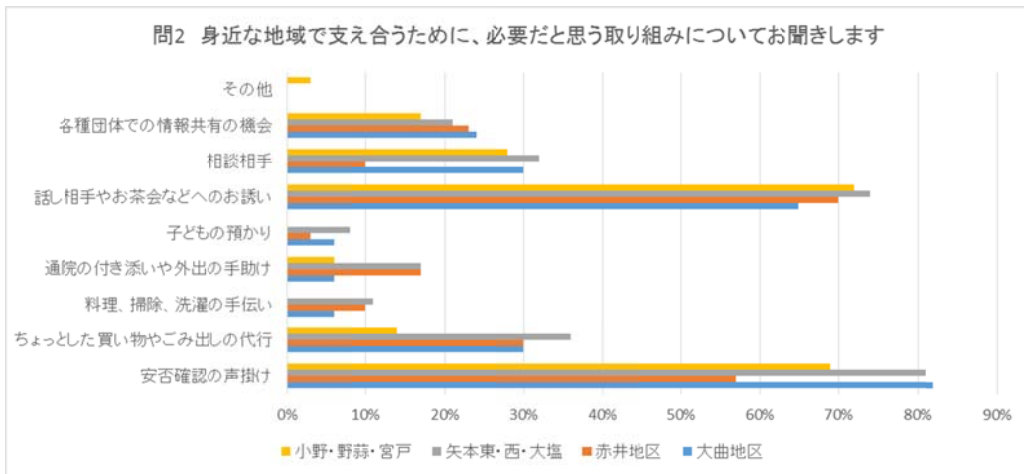
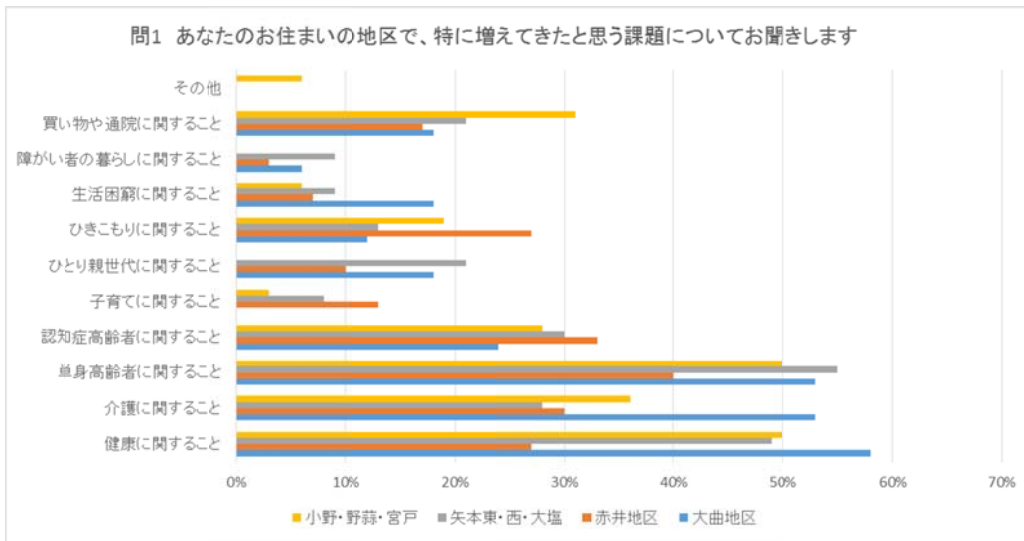
① 参加する	47人	88.7%	
② 参加しない	0人	0.0%	
③ からない	5人	9.4%	(時間の都合が合えば)
④ 無回答	1人		

【アンケート意見】

- ・活動をやっているものの、ボランティア等の担い手が少なく若い世代への呼びかけも必要と感じる。
- ・1.見守り活動の充実、2.食事の提供、3.移送・外出支援の3点が特に重要だと感じる。
- ・支え合い訪問などでどこまで立ち入ることができるか難しい。プライバシーの問題
- ・単身高齢者の日常生活での交流機会が少ない。集まる場所がない。
- ・高齢になると依存心が強く、自立心が乏しくなっているように感じる。
- ・内容が盛りだくさんで説明が早すぎると感じた。もっとゆっくり聞きたかった。
- ・どんな話し合いにも参加するのはいつも同じ顔ぶれ
- ・介護人材の確保が不可欠、奨学金、助成を充実させることが必要
- ・地域支え合い活動を進めるための拠点が必要と思うが、拠点となる場所がない
- ・自治会単位でこのような研修会を開催して情報を共有することで対応策が見えてくるのではないかと思う。

- ・生活していく中でのモラルに関して、権利の主張が強くなっている気がする。
- ・若い人達の参加が重要であると考えます。
- ・見守り活動も重要であるが、見守られる側の意識も重要。
- ・運転免許を返納した後の移動手段について、らくらく号はあるが往復で 600 円となると結構な負担であると感じる。
- ・2025 年、2040 年問題に向けて、若い人の参加が重要で若手会員向けの事業を実施したが、参加者が集まらず流会になった。若手の育成について課題
- ・説明時間が短い。予備知識が無い参加者には難しいのでもう少し説明に時間をかけてもいいのではないか
- ・個人情報取扱いが難しく、個人情報支え合いの壁になっていると感じる。
- ・住民同士のつながりが薄くなってきていると感じる。必要性についての啓発が必要
- ・見守り活動がのぞき・監視などと誤解が生じないような対応が必要。見守りをする側の身分の保障なども必要と感じる
- ・コミュニティワーカーの具体的な活動が聞けてよかった。
- ・地区の中で一人暮らしの高齢者が亡くなった事を聞くと、高齢化問題が深刻であることを感じる。自分の出来る所からやっていきたい。
- ・高齢者を支えている人も高齢者である。若者は自分の生活を支えるので精一杯。ボランティアで支えあうのは難しい。

社協支え合い事業説明会アンケート結果について



社協支え合い事業説明会意見として

大曲地区	赤井地区	中部地区（矢本東、西、大塩）	西部地区（小野、野蒜、宮戸）
<ul style="list-style-type: none"> ・ピンポン活動等もサロン活動になるのではないか ・自主防災活動で見守り活動をおこなっている ・身近な単位で個々に応じた様々な支援が必要 ・色々な問題を地域明けでは解決できないが、自分達でできる所から活動することが大事 ・支え合い活動、コミュニティビジネス、コミュニティスクールの区別が分からない ・高齢者の概念が現状にマッチしていない ・核家族化が孤立等の問題を引き起こしている。若者達に頑張ってもらいたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健推進員になって地域に入っていたが迷惑がられて受入れてもらえなかった ・男性がなかなか外に出てこない。出すのが難しい ・デイサービスの送り出しや迎え等のボランティアがあれば・・・ ・自治会でも事業の説明の機会を作って欲しい。個人的に聞いても自治会の中で広げられない ・地域の中で班別に話し合いができればより支え合いになるのではないかとと思う ・見守り活動では特定の人同士でおこなっていると上下関係ができて支え合いにならない ・情報共有と交流意識の向上に努める話し合いの場があるといいと思う ・アパートに入居している高齢者が気になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で民生委員が簡単な生活支援を実施している。民生委員もやりがいはあるが負担が大きい ・サロンに来ていない人が気になるが、どう声を掛けていいか分からない ・個人情報をごとまで共有していいか ・集いの場が必要だと思うが中心になってやるのは負担が大きいと感じる ・見守り、食事、外出支援の3点が特に重要だと感じる ・見守りでどこまで立ち入れればいいか悩む ・どんな会議の場にも出てくる人は同じ顔ぶれ ・支え合い活動をする拠点が必要だが場所がない ・権利の主張が強くなっている ・若い人達の参加が重要 ・コミュニティワーカーの具体的な活動が聞けてよかった ・自分でできる事は自分でする 	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間で接点を作り、時間を合わせて顔が見える関係ができればいい ・民生委員と自治会役員の交流がなく苦勞している ・役員以外関心が少ない ・自治会が住民交流を求めず役員だけで動いている。自治会役員へも説明をして欲しい ・自治会、民生委員の負担増にならないようにして下さい ・補助金の手続きが面倒、交付金にして欲しい ・地域で顔の見える関係ができてこそ取り組みができると思うので、今は難しい ・サロン活動に出てきている人はいい。出てきていない人こそ声掛けが必要だと思います ・各世帯の実態がよくつかめない。今まで自治会でも話題にする機会がなかったが今後は話したい

支え合い事業説明会アンケート内容及び結果について

複数回答

問1 あなたのお住まいの地区で、特に増えてきたと思う課題についてお聞きます。

	項目	大曲地区			赤井地区			矢本東・西・大塩			小野・野蒜・宮戸		
		回答数	件数	割合	回答数	件数	割合	回答数	件数	割合	回答数	件数	割合
1	健康に関すること	17	10	58%	30	8	27%	53	26	49%	36	18	50%
2	介護に関すること	17	9	53%	30	9	30%	53	15	28%	36	13	36%
3	単身高齢者に関すること	17	9	53%	30	12	40%	53	29	55%	36	18	50%
4	認知症高齢者に関すること	17	4	24%	30	10	33%	53	16	30%	36	10	28%
5	子育てに関すること	17	0	0%	30	4	13%	53	4	8%	36	1	3%
6	ひとり親世代に関すること	17	3	18%	30	3	10%	53	11	21%	36	0	0%
7	ひきこもりに関すること	17	2	12%	30	8	27%	53	7	13%	36	7	19%
8	生活困窮に関すること	17	3	18%	30	2	7%	53	5	9%	36	2	6%
9	障がい者の暮らしに関すること	17	1	6%	30	1	3%	53	5	9%	36	0	0%
10	買い物や通院に関すること	17	3	18%	30	5	17%	53	11	21%	36	11	31%
11	その他	17	0	0%	30	0	0%	53	0	0%	36	2	6%

問2 身近な地域で支え合うために、必要だと思う取り組みについてお聞きます。

	項目	大曲地区			赤井地区			矢本東・西・大塩			小野・野蒜・宮戸		
		回答数	件数	割合	回答数	件数	割合	回答数	件数	割合	回答数	件数	割合
1	安否確認の声掛け	17	14	82%	30	17	57%	53	43	81%	36	25	69%
2	ちょっとした買い物やごみ出しの代行	17	5	30%	30	9	30%	53	19	36%	36	5	14%
3	料理、掃除、洗濯の手伝い	17	1	6%	30	3	10%	53	6	11%	36	0	0%
4	通院の付き添いや外出の手助け	17	1	6%	30	5	17%	53	9	17%	36	2	6%
5	子どもの預かり	17	1	6%	30	1	3%	53	4	8%	36	0	0%
6	話し相手やお茶会などへのお誘い	17	11	65%	30	21	70%	53	39	74%	36	26	72%
7	相談相手	17	5	30%	30	3	10%	53	17	32%	36	10	28%
8	各種団体での情報共有の機会	17	4	24%	30	7	23%	53	11	21%	36	6	17%
9	その他	17	0	0%	30	0	0%	53	0	0%	36	1	3%

問3 あなたのお住まいの地区の良いところ(強み)についてお聞きます。

	項目	大曲地区			赤井地区			矢本東・西・大塩			小野・野蒜・宮戸		
		回答数	件数	割合	回答数	件数	割合	回答数	件数	割合	回答数	件数	割合
1	住民間の日常的な会話や交流の機会がある	17	13	75%	30	19	63%	53	35	66%	36	23	64%
2	住民の暮らしや福祉について懇談や協議する機会がある	17	3	18%	30	3	10%	53	6	11%	36	3	8%
3	自治会や民生児童委員などが協力して見守り活動をおこなっている	17	9	53%	30	7	23%	53	22	42%	36	12	33%
4	身近な暮らしの問題(ちょっとした困りごと)の解決に取り組んでいる	17	2	12%	30	2	7%	53	6	11%	36	7	19%
5	ボランティア活動や地域福祉活動が盛んである	17	3	18%	30	6	20%	53	5	9%	36	1	3%
6	その他	17	0	0%	30	0	0%	53	2	4%	36	5	14%

問4 あなたは今後、地域の支え合い活動について話し合う機会があれば参加しますか

	項目	大曲地区			赤井地区			矢本東・西・大塩			小野・野蒜・宮戸		
		回答数	件数	割合	回答数	件数	割合	回答数	件数	割合	回答数	件数	割合
1	参加する	17	15	88%	30	22	73%	53	46	87%	36	32	89%
2	参加しない	17	0	0%	30	0	0%	53	0	0%	36	0	0%
3	分からない	17	2	12%	30	8	27%	53	7	13%	36	4	11%

資料 2

生活支援体制整備事業第 2 層の進捗状況について

生活支援体制整備事業第 2 層については、コーディネーターを日常生活圏域（中学校エリア）に 1 名ずつ配置し、協議体については地域活動圏域（自治協議会のエリア）で設置する予定としています。

1.現在の取り組みについて

東松島市社会福祉協議会において、地域活動圏域でコーディネーターが中心となり体制整備事業を進める予定としております。その中で、生活支援コーディネーターの相談先として、まちづくり協議会に事業についてご理解頂き、連携しながら事業を進めることが効果的であると考え、生活支援体制整備事業推進に係る協力金の交付について要綱を定めました。現在、赤井地区において市民センター職員と連携しながら進める事で協力金を交付しており、6 月 21 日に赤井地区において協議体準備会を開催しております。

2.協議体の設置に向けて

協議体の設置、推進については別紙イメージのとおりと考えています。

3.赤井地区の実施状況について

準備会のメンバー選出については市民センター職員と相談し人選。赤井地区では構成メンバーを地域の自治会長 2 名、民生委員 2 名、活動者 3 名、介護保険事業所 1 名、市民センター職員 1 名となっております。

1 回目の会議は赤井市民センターを会場におこない、自己紹介、自分たちの活動、活動に対する思い等を共有しました。次回については 7 月 9 日にやもと赤井の里で開催を予定しており、協議体のメンバーや話し合いのルールについて協議する予定です。

出た意見については別紙添付



協議体準備会の様子

東松島市地域支え合いフォーラム 2018 実施要綱

1.目的

少子高齢化が進む中、たとえ介護や生活支援が必要な状況になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、改正介護保険制度について理解を深め、地域における「支え合い」を見つめなおし、これからの地域づくりを推進する事を目的とする。

2.主 催 東松島市地域支え合い推進委員会

3.共 催 東松島市 社会福祉法人 東松島市社会福祉協議会

4.後 援 赤井地区自治協議会、大曲まちづくり協議会、矢本ひがしネットワークコミュニティ、矢本西コミュニティ協議会、大塩自治協議会、小野地域まちづくり協議会、野蒜まちづくり協議会、宮戸コミュニティ推進協議会、東松島市民生委員児童委員協議会、東松島レクリエーション協会、東松島市老人クラブ連合会、NPO法人東松島まちづくり応援団、JAいしのまき農業協同組合、(有)アグリートなるせ、ぱんぷきん株式会社
学校法人 東北文化学園大学（予定）

5.日 時 平成 30 年 11 月 2 日（金）13 時 30 分～16 時

13 時開場 第 1 部 13 時 30 分～14 時 30 分 第 2 部 14 時 30 分～16 時

6.場 所 東松島市矢本東市民センター

7.対 象 ①地域支え合い活動を実施している団体

②地域支え合い活動に興味のある方

③興味のある方誰でも

8.内 容

第 1 部 ポスターセッション 13 時 30 分～14 時 30 分

市内の活動団体 6 団体の紹介。各団体が 5 分間活動紹介をおこない、その後ポスターの前で活動に関する来場者の質問に答えながら、地域活動の取り組みのヒントを得て参加者の地域での支え合い活動の推進を図る。来場者は、それぞれの活動で共感する活動に投票してもらいフォーラムの最期で結果を発表する。

第 2 部 シンポジウム 14 時 30 分～16 時

「支え合いの地域が作る明るい未来」をテーマに、市内で地域支え合い活動を展開している団体の代表から団体で取り組んでいる活動を紹介してもらい、改正介護保険制度について理解を深める。

コーディネーターとパネリスト予定者

コーディネーター	東北文化学園大学	教授	野崎	瑞樹氏
パネリスト	ぱんぷきん(株)	代表取締役	渡邊	智仁氏
	柳北自治会	自治会長	昆野	美津子氏
	新道町内会自治会	自治会長	片岡	健治氏

9.参加費 無料

10.問合せ

社会福祉法人 東松島市社会福祉協議会 地域福祉課

〒981-0503 東松島市矢本字大溜 9-1

TEL 0225-83-5001 FAX 0225-82-9813

【担当】眞籠